

# 8月9日、長崎とアウシュヴィッツで共に

## 平和を祈るプロジェクト

グナーデンベルク  
実施者: Gnadenberg

### ◎目的

被爆とホロコーストという人類史に残る悲惨な戦争体験を持つ長崎とアウシュヴィッツで、長崎とドイツの大学生が、相互の戦争体験を共有し、それに基づいて、世界平和のために祈り、その取り組みを日本やドイツの人々をはじめとして広く発信することを目的とする。

### ◎こんな人に届けたい

長崎純心大学学生・卒業生、フライブルク大学生を中心とするドイツの大学生、スペイン、ポーランドからの参加者、長崎市民、その他ドイツ語圏の人

### ◎実績

- ・祈りの集い(長崎約20名、アウシュヴィッツ約30名、その他オンライン参加者約60人)
- ・YouTube によるドイツ語での被爆体験の発信(投稿動画の総再生数404回)
- ・エディット・シュタインとアウシュヴィッツ展(来館者数延べ358人)
- ・祈りの集いの報告会(参加者約10名)



アウシュビッツで共に祈る人々



エディット・シュタインとアウシュビッツ展の様子



純心大学でのアウシュビッツ展開会の様子



報告会

## ◎事業の内容

長崎の原爆投下の日である 8月9日は、ユダヤ系ドイツ人修道女・哲学者、エディット・シュタイン(Edith Stein)が、アウシュヴィッツのガス室で殺された日でもある。

シュタインは英雄的生涯を送った女性として、ドイツで尊敬を受けて来たが、1998年に教皇ヨハネ・パウロ二世が彼女をカトリック教会の聖人として宣言したことにより、8月9日には、ドイツ人をはじめとする多くの人が、アウシュヴィッツで、ホロコーストの犠牲者と世界平和のための祈りを捧げるようになった。長崎の大学生とドイツの大学生が、原爆投下とホロコーストという人類史の二つの悲惨な戦争体験を共有した上で、8月9日に長崎とアウシュヴィッツを Zoom で結んで、世界平和のために共に祈る集いを開催した。

① 祈りの集いでは、次のような活動を行った。

- ・(長崎の大学生)永井隆編著『原子雲の下に生きて』に掲載された1編の子どもの被爆体験を、日本語とドイツ語で朗読した。続いて、1945年8月9日を最後の原爆の日とするという理想が、国境を超えた対話と祈りを通して、実現されるようにという意向で、長崎からの「平和の願い」をドイツ語で伝えた。
- ・(ドイツの大学生)エディット・シュタインの平和の祈りを唱えた。
- ・ポーランドの神父がポーランド語で主の祈りを唱え、長崎の学生が日本語でアヴェ・マリアの祈りを唱えた。
- ・沈黙の時間を設け、それぞれが自らの心の中で平和への祈りを捧げた。

② 8月9日の祈りの集いの事前準備として、ホロコーストの実相を長崎の学生・市民が広く知ることができるように、長崎純心大学博物館で7月27日から9月3日までエディット・シュタインとアウシュヴィッツ展を開催した。同展は、一般市民に開放し、エディット・シュタインの生涯をアウシュヴィッツにおける死に至るまでを辿るとともに、8月9日の長崎の原爆の被害を示し、それ以降、今日まで、8月9日に長崎でどのような行事が行われてきたかを辿ることができるようにした。

長崎純心大学での展示終了後、原爆資料館の円形パビリオンにて再展示を行った。長崎純心大学博物館で展示したうちの一部の写真を用い、8月9日の祈りの集いの写真も加えた展示を行った。

③ 被爆の実相を参加者以外にも広く知ってもらうために、YouTube を通してドイツ語で子どもたちの被爆体験を発信した。YouTube の朗読は、ドイツ語を母語とする人に依頼した。

④ 8月9日の祈りの集いの成果は、11月5日に原爆資料館の学習室を借り「Gnadenberg 活動報告会」として開催し公開した。

⑤ 9月17日に、聖母の騎士高等学校の先生から依頼を受け、約20名の高校生の前で Gnadenberg の活動についての講演を行った。

⑥ 11月26日に、日独協会開催の Sprachtreff に参加し、オンラインでつながった全国の日本人に、自己紹介の際 Gnadenberg の活動について紹介した。

## ◎事業の成果等

### ① 祈りの集いの様子

終了後様々な国籍の参加者から「参加できて良かった」「素晴らしい時間だった」との感想が寄せられた。

### ② 長崎純心大学博物館での展覧会と原爆資料館での展示

長崎の学生や市民、原爆資料館の来館者などにエディット・シュタインの生涯や8月9日という長崎とのつながりについて知ってもらうことができた。

③ YouTube 等での発信を通して、ドイツ人に長崎の被爆体験について知ってもらうことができた。

④ 活動報告会等で Gnadenberg の活動について日本人に知ってもらうことができた。

## ◎今後の取組み

① Gnadenberg の YouTube チャンネルを維持・発展させる。ドイツ人視聴者を増やす工夫をする。

② メンバーがアウシュヴィッツ、Edith Stein についての学びを深める。

③ 長崎を来訪するドイツ人と交流できる機会を利用して、8月9日の持つ意味をドイツ人に伝える。

<https://www.youtube.com/@gnadenberg4447>

チャンネルはこちら！

